

授業科目名	基礎ゼミナールⅡ	担当教員	◎大石昌也、○青山美紀子、 足立智孝、久保幸代、有家香、 吉野妙子、中島洋一
必修	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

基礎ゼミナールⅡではEarly Exposureで見学し体験したことをもとに、グループ内で討議し、看護への動機づけを高める。また、1年次に学ぶ教養科目の選択や学生の学修プロセスを支援するとともに、看護のプロフェッショナリズムの中の課題や問題点などについて論議する機会を持つ。教員と学生が定期的に会合を持つ。

【授業目的・目標】

このゼミナールでのクラスメートや担当の教員と対話を通じて、看護学生としての1年次における学修・生活が円滑に進められるようにする。

【履修条件】

「基礎ゼミナールⅠ（アーリーイクスポージャー）」を修得していること

【授業計画】

- | | |
|--|---------|
| [01] 全体ガイダンス／オリエンテーション
・教員紹介
・ゼミナールⅡの進め方 | (全担当教員) |
| [02] グループ演習のためのテーマを決める | (全担当教員) |
| [03] グループ演習の計画書を作成する | (全担当教員) |
| [04] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [05] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [06] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [07] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [08] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [09] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [10] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [11] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [12] グループ 演習 | (全担当教員) |
| [13] グループ 演習・全体発表会の準備 | (全担当教員) |
| [14] 全体発表会 | (全担当教員) |
| [15] 全体発表会 | (全担当教員) |

【教科書】

佐藤望編著（2012）アカデミック・スキルズ第2版，慶応義塾大学出版会。

新井和弘・板倉杏介著（2013）グループ学習入門：アカデミック・スキルズ学びあう場づくりの技法，慶応義塾大学出版会

【参考書】

後日提示する

【評価方法・評価基準】

講義・演習の参加状況（25%） 課題レポート（50%） 課題探求のための実践活動（25%）

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：基礎ゼミナールⅡでは基礎ゼミナールⅠで学修したアカデミック・スキルズを活用する。よって、基礎ゼミナールⅠを振り返り、講義を聴く、情報収集をする、文献検索をする、グループ討議をする、プレゼンテーションをする、レポートを書くといったスキルについて学習を行うこと。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ. 教養教育で培う普遍的基礎能力，Ⅱ. 質の高いケアを実践するためのリーダーシップ能力，Ⅴ. 多職種から成り立つ医療チームにおけるコミュニケーションとコラボレーション能力，Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力に関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートについては適時に傾向について示しフィードバックする。グループ内討議や発表会については実施後に教員からフィードバックを行う。

【備考】

基礎ゼミナールⅡの学修は基礎ゼミナールⅢ，4年次の研究ゼミナールⅠ・Ⅱに影響するため、主体的・積極的に取り組むこと。